

# 作品募集要項

- テーマ** これはゼツタイ落選だ！！
- 応募資格** 15歳以上(中学生を除く)の熊本市在住・在学・在勤者または熊本市出身者
- 部門・規格**
  - 平面部門(洋画・日本画・版画・デザイン・写真・書など)**  
形式①:130cm×130cm 以内  
形式②:170cm×50cm 以内  
※額サイズを含む。規定サイズ内ならば、連結された組作品も可。  
※ヒートンなど展示に必要な金具をつけ、展示可能な状態としてください。  
※作品の表面保護が必要な場合はアクリルを使用してください(ガラス不可)。
  - 立体部門(彫刻・工芸など、ただし生け花を除く)**  
高さ、幅、奥行ともに100cm以内で、重さ50kg以内
  - 映像部門**  
上映時間は20分以内で、スクリーンサイズは50インチ以内  
※モニター及び再生用機器は各自用意し、受付の際に機器再生の手順書を添付してください。
- 出品点数** 1部門につき1点まで(出品料無料)
- 注意事項**
  - 材質、形状、技法については基本的に制限しませんが、虫害やカビなどのおそれのあるものの使用は禁止します。 例:食品、生花、ドライフラワー、流木、土など
  - 作品の安全性・衛生上の問題や公序良俗に反する点が認められる場合は、出品をお断りすることがあります。
  - 展示・設置場所に関する異議は受け付けません。
  - 出品は1年以内に自身が創作した作品で、かつ受賞歴のないものに限ります。

**出品受付** **受付日時: 2025年3月8日(土)、9日(日)[2日間] 10:00~17:00**  
**受付場所: 熊本市現代美術館 ギャラリー1**  
**出品方法: 応募用紙【1出品申込書 2出品票】をご記入のうえ、切り離さずに 受付までご持参ください。**  
※びぶれす熊日会館3階の熊本市現代美術館の正面玄関よりお入りください。  
※車をご利用の場合は近隣の駐車場をご利用ください(提携の駐車場はありません)。

- 作品および出品者情報の扱いに関する諸注意**
- 会場にてお名前(ペンネーム可)と作品名を提示します。入賞者についてはお名前(またはペンネーム)、作品名、作品画像を報道に公表します。
  - 来場者による出品作品の撮影およびSNS等への投稿を許可します。
  - ご記入いただいた個人情報(厳重に保護・管理します。法令に基づき、公的機関から開示を求められた場合を除き、情報を外部に公開することはありません)。
  - お預かりした作品の保管については十分な注意を払いますが、天災などの不可抗力による事故の場合は責任を負いません。

- 作品返却** **返却日時: 2025年4月13日(日)16:00~18:00(当日15:00~16:00は会場を開場します。)**  
**4月14日(月)10:00~13:00、16:00~19:00**  
**返却場所: 熊本市現代美術館 ギャラリー1**  
**返却方法: 出品受付時にお渡しする【返却書】をご持参ください。指定の返却日時に必ずお引き取りをお願いします。  
(ご連絡なしでお引き取りがない場合は、着払いにて返送します。)**

## テーマ「これはゼツタイ落選だ！！」によせて

### 「なんだ、これは」を目指したい 森村泰昌

誰もが知る、あのフィンセント・ファン・ゴッホ。この画家の絵は、生前たった一点しか売れなかったらしい。当時の人々は「なんだ、これは。こんなの絵じゃないよ」という感じで、みんな理解できなかったのだ。

表現って、そういうところがあるから面白い。ヒップホップだって、プレイキンだって、それにAIだって、最初は「なんだ、これは」の世界だった。でもやがて、世の中があとからついてくる。

だから、こんなものを応募したら入選するぞとか、受賞するぞとか、そういう“傾向と対策”は、表現世界には通用しない。相手の顔色をうかがった、ウケねらいの作品には、どこか不純な雰囲気がつきまとう。それは意外とはつきり表に出てくるものなのだ。

「こんなものを出したら、なんだ、これはと思われてしまうかな。落選するに決まってる」と不安に感じて、なんだか自分ではドキドキしたりワクワクしたりする作品だったら、思いきって、それを応募してみてください。

これはゼツタイ落選だと、みんなが感じるなかに、きっとスゴイものがある。ステキな落選作品、たのしみに待っています。

**審査員** もりむらやすまさ  
**森村泰昌** (美術家)



撮影: 福永一夫

1951年、大阪市生まれ。京都市立芸術大学美術学部卒業、同大学美術学部専攻科修了。1985年、ゴッホの肖像画に扮するセルフポートレート写真《肖像・ゴッホ》を発表。以降、今日に至るまで、一貫して「自画像的作品」をテーマに作品をつくりつづける。国内外で多くの個展を開催、グループ展に参加。ヨコハマトリエンナーレ2014ではアーティストリック・ディレクターを務める。2018年、大阪市北加賀屋に「M@M モリムラ@ミュージアム」をオープン、定期的に企画展を開催する。2022年、「森村泰昌×桐竹勘十郎人形浄瑠璃「新・鏡影奇譚」にて創作床本と出演。2024年、初のパブリックアート《適塾の集い》を大阪大学中之島センターに設置。2007年、芸術選奨文部科学大臣賞受賞。2011年、毎日芸術賞受賞、日本写真協会賞受賞、紫綬褒章受章。著書に『生き延びるために芸術は必要か』(2024年、光文社新書)など多数。

- 賞**
- アートパレード大賞(熊本市賞)**……………1点(5万円、賞状)
  - 熊本市現代美術館賞**……………1点(3万円、賞状)
  - 審査員特別賞(森村泰昌賞)**……………1点(3万円、賞状)
  - 井手宣通賞**……………1点(3万円、賞状)
  - 優秀賞**……………5点(各1万円、賞状)
  - 奨励賞**……………10点(記念品、賞状)
  - オーディエンス賞**……………1点(春の企画展ペア招待券)

### オーディエンス賞に投票しよう！ 3月26日(水) 受賞作品を美術館HPにて発表！！

出品作品の中から、あなたのお気に入り作品に投票してください。もっとも投票数の多かった作品に「オーディエンス賞」が贈られます。  
**投票期間: 3月16日(日)~23日(日)**  
※投票いただいた方の中から5組10名に春の企画展招待券をプレゼント！(発表は発送をもってかえさせていただきます)

**主催** 熊本市現代美術館[熊本市、公益財団法人熊本市美術文化振興財団]